

2021年6月25日

課題名：胆嚢癌疑診例および早期胆嚢癌に対する鏡視下切除の有効性の検討
：多施設共同後ろ向き研究

◆研究の目的と概要◆

胆嚢癌疑診例および早期胆嚢癌について鏡視下切除術の手術成績を調べることによって胆嚢癌疑診例および早期胆嚢癌に対する鏡視下切除術の有効性の確立を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2000年1月から、2020年12月までの間に胆嚢癌疑診例または早期胆嚢癌の診断で、腹腔鏡下胆嚢床切除または腹腔鏡下肝切除を施行した患者さんが対象となっています。

◆研究に使用される情報◆

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、術前診断・病期
- 2) 血液検査結果
- 3) 病理組織検査結果
- 4) 手術成績：実施術式、出血量、輸血有無、手術時間、開腹移行有無、合併症、術後在院日数
- 5) 長期予後：観察期間、再発有無、生存転帰

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録(カルテ)からの情報を利用します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

国際医療福祉大学成田病院 板野 理 医師が主体となって実施しており、全国 13 施設が参加しています。

【共同研究機関】

研究者氏名	研究機関名	所属、職名	資格・役割・分担など
大島 剛	永寿総合病院	外科、副部長	研究分担者
阿部 雄太	慶應義塾大学	一般・消化器外科、講師	研究分担者
奈良 聡	国立がん研究センター中央病院	肝胆膵外科、医長	研究分担者
大目 祐介	東京女子医科大学	消化器・一般外科、助教	研究分担者
橋田 和樹	倉敷中央病院	外科、医長	研究分担者

小林 敏樹	静岡市立静岡病院	外科、医長	研究分担者
白部 多可史	浜松南病院	外科	研究分担者
遠藤 泰	多摩丘陵病院	外科、医員	研究分担者
和田 浩志	大阪国際がんセンター	消化器外科、肝胆道外科長	研究分担者
武田 裕	関西ろうさい病院	外科、消化器外科部長	研究分担者
大谷 広美	愛媛県立中央病院	消化器外科、部長	研究分担者
徳光 幸生	山口大学	消化器・腫瘍外科、助教	研究分担者
足立 智彦	長崎大学	移植・消化器外科、講師	研究分担者

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

外科 研究責任者 橋田和樹

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明